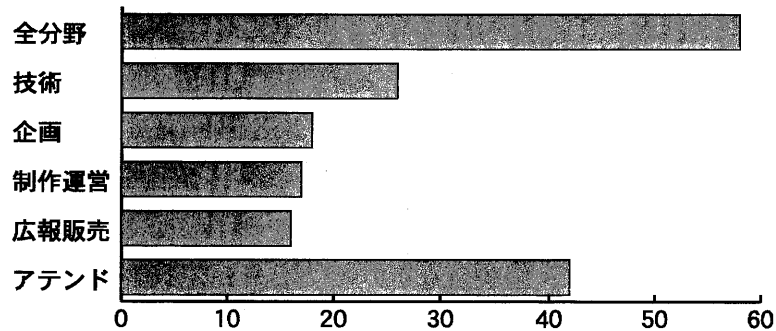


## 6. 住民ボランティアの導入の状況

### (1) ボランティアの導入状況

表-28/図-24 住民ボランティアの導入状況

	都道府県	政令指定市	広域組合	人口10万以上	人口10~3万	人口3万未満	計	(%)
全分野	6	—	3	14	19	16	58	19.3
技術	3	—	3	3	7	10	26	8.7
企画	1	—	2	3	5	7	18	6.0
制作運営	—	—	2	5	6	4	17	5.7
広報販売	1	—	—	5	4	6	16	5.3
アテンド	4	—	2	8	15	13	42	14.0



ホールボランティアを「採用している」と回答したのは58で、回答施設のうち2割近くの施設で何らかのボランティアを採用しているという結果である。

政令指定都市のホールではまったく採用しておらず、傾向として人口規模が小さい地域ほど、ボランティアスタッフの導入に取り組んでいる傾向がある。

表-29 住民ボランティアの人数

	技術		企画		制作運営		広報販売		アテンド		全分野	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
10人未満	3	11.5	1	5.3	—	—	2	11.8	6	14.3	5	8.6
10~1人	8	30.8	9	47.4	4	25.0	4	23.5	3	7.1	8	13.8
20~29人	9	34.6	4	21.1	2	12.5	3	17.6	7	16.7	15	25.9
30~49人	4	15.4	3	15.8	6	37.5	3	17.6	6	14.3	13	22.4
50~99人	—	—	1	5.3	1	6.3	2	11.8	6	14.3	4	6.9
100人以上	1	3.8	—	—	—	—	1	5.9	1	2.4	7	12.1
未回答	1	3.8	1	5.3	3	18.8	2	11.8	3	7.1	6	10.3
計	26	100.0	19	100.0	16	100.0	17	100.0	42	100.0	58	100.0

表-30 有償・無償の別

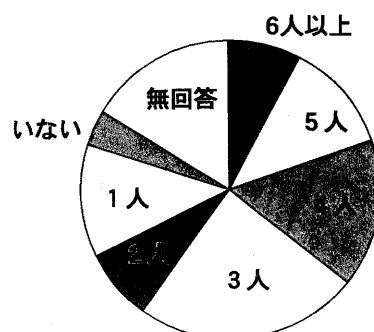
	技術		企画		制作運営		広報販売		アテンド	
		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
有償	11	42.3	3	15.8	1	6.3	—		12.0	28.6
実費支払	4	15.4	2	10.5	2	12.5	2.0	11.8	6.0	14.3
無償	9	34.6	13	68.4	10	62.5	13.0	76.5	22.0	52.4
未回答	2	7.7	1	5.3	5	31.3	2	11.8	2	4.8
計	26	100.0	19	100.0	16	100.0	17	100.0	42	100.0

人数としては約30人がピークとなっており、技術部門のボランティアは有償となってる施設の比率が高い。

(2) ボランティアを導入している施設の舞台技術部門

表-31/図-25 技術ボランティアを採用施設の技術に関わる職員の数

舞台技術に関わる職員数	施設数	(%)
6人以上	2	7.6
5人	3	11.5
4人	4	15.4
3人	6	23.1
2人	2	7.7
1人	3	11.5
いない	1	3.8
無回答	4	15.4



舞台技術のボランティアを採用しているホールの技術部門の状況を見ると、半数以上の施設で3人以上の技術に関わる職員がおり、いないとの回答は1施設のみであった。

表-32 技術ボランティア採用施設の舞台技術業務を主に担当するスタッフ

	業務	回答 施設	一般 職員	専門 職員	常駐 業者	必要時 に委託	ボラン ティア	やって いない	その他
1	日常の照明・音響・舞台の設備・備品の管理	26	9	14	6	-	-	-	-
	(%)	100.0	34.6	53.8	23.1				
2	舞台設備・備品等の点検、更新等における業者との対応	26	10	16	2	3	-	-	-
	(%)	100.0	38.5	61.5	7.7	11.5			
3	貸館事業、委託制作事業での技術面の打ち合わせ	26	12	14	5	1	1	-	-
	(%)	100.0	46.2	53.8	19.2	3.8	3.8		
4	公演時の舞台等設営の前後のチェック	26	9	15	4	3	1	-	-
	(%)	100.0	34.6	57.7	15.4	11.5	3.8		
5	公演時の立ち会い	26	11	14	5	2	2	-	-
	(%)	100.0	42.3	53.8	19.2	7.7	7.7		
6	ホールに常備していない設備・備品の手配	26	10	10	4	2	-	4	1
	(%)	100.0	38.5	38.5	15.4	7.7		15.4	3.8
7	自主制作事業における技術部門のデザイン	26	8	12	4	6	3	1	-
	(%)	100.0	30.8	46.2	15.4	23.1	11.5	3.8	
8	自主制作事業における舞台設備や備品の準備・仕込み	26	11	14	4	8	7	1	-
	(%)	100.0	42.3	53.8	15.4	30.8	26.9	3.8	
9	自主制作事業における舞台設備の操作	26	9	12	4	8	7	2	-
	(%)	100.0	34.6	46.2	15.4	30.8	26.9	7.7	
10	一般への舞台技術の講習・研修	26	8	12	1	2	2	6	-
	(%)	100.0	30.8	46.2	3.8	7.7	7.7	23.1	

舞台技術業務全般についても、主に専門職員が行うという施設が多く、ボランティアが主に行うという業務も、複数回答のひとつとしてあったが、自主制作事業に関わるケースが多く、舞台技術のボランティアは、多くの施設では、一種の住民参加型事業として行われているように見られる。

(3) ボランティアの安全対策

表-33/図-26 技術ボランティア採用施設の一般の利用者による操作の制限

作業	回答数	職員や業者のみ		条件により可能		制限しない	
		施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
舞台機構操作卓	26	23	88.5	3	11.5	-	
網元操作	26	16	61.5	9	34.6	1	3.8
照明操作卓	25	10	40.0	13	52.0	2	8.0
高所の照明器具の吊り込み調整	26	18	69.2	7	26.9	1	3.8
音響操作卓	26	10	38.5	14	53.8	2	7.7

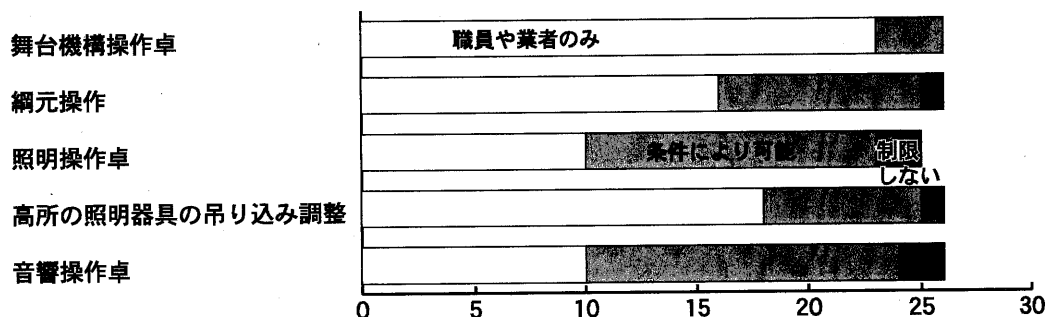


表-34 ボランティアの研修の実施状況

	実習を含む研修		講習のみ		実施施設 (%)		無し	無回答
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)		
電気機器取り扱い	15	57.7	7	26.9	21	80.8	-	5
高所での作業	11	42.3	2	7.7	12	46.2	5	9
舞台機器取り扱い	20	76.9	-	0	20	76.9	2	4
その他	5	19.2	2	7.7	7	26.9	-	-

表-35 保険への加入状況

加入状況	施設数	(%)
全員加入	21	80.8
事業毎に加入	2	7.7
希望者のみ	-	0
なし	2	7.7
無回答	1	3.8

表-36 ボランティアによる作業の制限

安全対策の方向	作業等の条件	制限される作業の内容
研修・講習等への出席状況により制限している	講習会上級修了者のみ	全作業
	ボランティアグループへの入会は研修会修了者に限る	舞台上の全作業 網元 高所作業等
	技術講座の開催の修了者に限定している	操作卓 音響のオペレート 2件 照明のオペレート 4件 ピンスポットの操作
職員の立ち会いのない場合、制限している	その場の状況に応じ、責任者となる職員の支持に従って作業。範囲は責任者の判断による  ボランティアグループの作業時には必ず職員が立ち会う  作業前の打ち合わせは十分に行うが、原則的には、職員（会館職員・舞台専門職）立ち会いで作業をしている。  ボランティアスタッフだけで行動すると言うことはなく、常に、ホール職員と共に行動している	全作業 2件 全操作 高所作業等 重量物吊り物 網元操作 5件 吊りものの操作 舞台の操作 2件 照明の吊り込み 3件 照明の操作 3件 音響の操作 2件 舞台、音響調整室への出入り
所定の服装や装備によらない場合に制限している		全作業 舞台上の仕事全般 調光卓操作 網元操作 高所作業等
その他、条件によって制限している作業	参加しているボランティア個人のレベルにより職員が制限している	搬入、搬出、監視に制限
条件によらず、制限している作業内容		吊りもの関係 高所作業 舞台機構操作盤 3件 舞台機構操作(操作卓、網元) 基本的に補助的業務

安全を確保する上で、かなりの数の施設で、職員の立ち会いを条件に作業を行っている。